

# 柝の木からの手紙

2020年 弥生 3月号

2月初め、一般社団法人MOAインターナショナルの岡田式浄化療法・療法士の更新研修を受けて来ました。日頃の自分の施術の在り方を見直す良い機会でした。また、施術の研修をやり合った方の息子さんがアトピーで、たまたま持っていた自然農法産の黒大豆を一袋ですがお渡しする事が出来て微力ながらお役に立てた事に喜びを感じています。効果があるかどうかは分かりませんが本当に必要としている所に程々の価格で「食べるクスリ」として提供できることが良いのではないのでしょうか？昨年出荷した当農場の芋は最終的には11月末までにMOA商事の総合物流センターに入りましたが、売れずに沢山残っていると聞いています。



5日： 啓蟄

10日： 満月 : 旧 2月 16日

20日： 春分 : 満月 旧 2月15日

24日： 新月 : 旧 3月 1日

「243」。私の出合った不思議な数字？私が北海道に遣って来て初めて乗せて貰った牛。夜の搾乳が終わって牛小屋の掃除をしていると1頭だけ小屋に戻って来てこちらを見ている牛がいる。今日で何日目だろうか？掃除が終わり仕事を終える前に、戻って来た牛の傍に行き柵を利用して牛の背中に乗った。驚いたのか？割と大人しく動かないでいる。翌朝から搾乳の為牛を外から小屋に集めると牛の集団の後ろで昨夜の牛がこちらを見ている。名前を呼ぶと前の牛を押しつけて搾乳小屋に入って来る、賢い牛。

その名前は、HMBBアライアンスエース。個体識別番号は「243」。

美幌町へ遣って来てまず初めに気が付いた「243」。それは、網走から大空町、美幌町、美幌峠を越えて屈斜路湖、別海町、根室市厚床まで走る国道「243」。

そして、美幌町の衣料品店「しまむら」、網走農業改良普及所の交差点にある送電線の鉄塔に掛けてある鉄塔の番号札「243」。



この春、最後の北海道光輪祭の後、閉館を迎える「札幌伏見会館」。娘の用で札幌へ行った折に何度か訪れていた伏見会館。ついでに、今は亡き日高晤郎ショーを聴きに、観に行くのも楽しみだった。

27, 8歳の頃鹿児島県串間市で知らずに手にして購入した小冊子、祈りの葉。そして北海道に来る前に身辺整理して焼却した時に目に焼き付いた小冊子に掲載されていた写真の人。その人に、今いる家のご神前で対面して内心驚いた。思えば、レールが敷かれていたかの様にここまで遣って来た。「243」、「フ・シ・ミ」。日本の山は「243」。「フ・ジ・サン」。